



## 情報提供資料

## TDAMフォワード・ルッキング・リサーチ

債券運用部 チーフ・ストラテジスト兼ファンドマネージャー 浪岡 宏, CFA

作成日: 2025年2月14日

## ～米国の関税引き上げにおいて気を付けるべき業種～

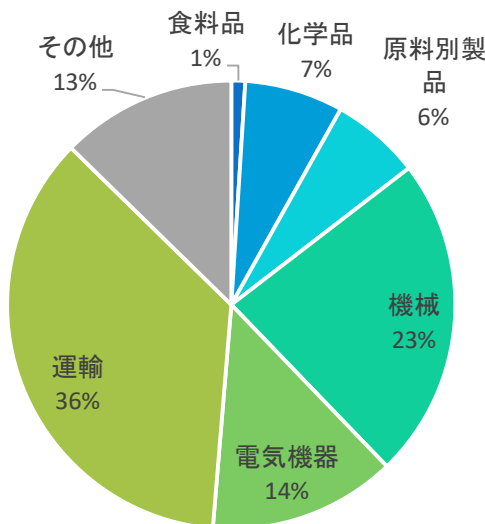
足許では、トランプ政権による関税引き上げの報道が注目を集めている。これを機に、改めて、日本の対米輸出品目のウェイトを確認した。なお、2024年通年の輸出金額をもとに集計した。

当然のことながら、大まかなカテゴリーで言えば、運輸（自動車や自動車部品がほとんどを占める）や電気機器、機械のウェイトが大きいことがわかった。なお、機械のなかでは原動機や建設用機械器具のウェイトが相応にあった。ちなみに、昨今、鉄鋼やアルミ製品の関税が騒がれているが、鉄鋼と非鉄金属については合計で約2%であった。

また、株価への影響を考慮するために、東証33業種について、各業種における北米売上比率を計算してみた。なお、対象はTOPIX500に含まれる銘柄としている。北米売上比率は各銘柄の時価総額をもとに加重平均した値である。データ制約の観点から米国ではなく北米としている。上位業種は、ゴム製品、輸送用機器、その他製品であった。もっとも、これらは現地生産・現地販売で関税がかからないものも含まれているだろうから、関税の影響を思いのほか受けないということも考えられる。詳しくは、個別企業の分析が必要になるが、ここではそこまでは立ち入らない。

ただ、大まかなイメージはこうして集計することで把握できるだろう。当然のことながら、外需関連株には厳しそうだ。

(グラフ) 米国向け輸出品目別ウェイト



注: 2024年通年のデータを使用

(表) 北米売上比率の上位業種

| 順位 | 業種名      | 北米売上比率<br>(時価総額加重平均) |
|----|----------|----------------------|
| 1  | ゴム製品     | 47%                  |
| 2  | 輸送用機器    | 36%                  |
| 3  | その他製品    | 31%                  |
| 4  | 精密機器     | 24%                  |
| 5  | 医薬品      | 24%                  |
| 6  | 機械       | 23%                  |
| 7  | 非鉄金属     | 23%                  |
| 8  | 銀行業      | 22%                  |
| 9  | 電気機器     | 18%                  |
| 10 | ガラス・土石製品 | 16%                  |

注: 取得可能な各社の直近年度のデータを使用

注: データの開示等がなく、データ取得制約がある場合は0%として計算

出所(グラフ): BloombergよりT&amp;Dアセットマネジメントが作成

出所(表): (株)JPX総研、BloombergよりT&amp;Dアセットマネジメントが作成

【ご留意事項】本資料は、T&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したご参考資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません。したがって、個別銘柄に言及した場合でも、関連する銘柄の当社ファンドへの組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。本資料は、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。本資料は、当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料中の数値・グラフ等の内容は、過去の状況であり、将来の市場環境等を示唆・保証するものではありません。本資料は作成時点での見解であり、今後予告なく変更する場合があります。ご投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断ください。